

2 地域特性

熊本市には以下のような地域特性があります。

人口・世帯数の推移

平成 14 年の推計人口は 668,446 人、世帯数は 268,483 世帯となっており、人口、世帯数ともに年々増加してきています。



出典：熊本市統計課資料 平成 14 年 10 月 1 日現在

日照条件

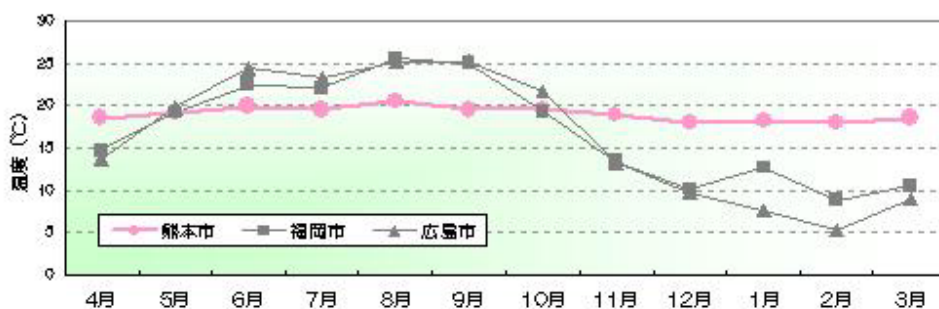
熊本市の日照量及び日照時間は、主要都市と比較して大きい値となっており、太陽エネルギーに恵まれています。

1MJ(メガジュール) = 10³kJ(キロジュール)
(1kcal = 4.186kJ)

	年平均日射量 (MJ/m ² ・日)	日照時間 年間合計値 (時間)
熊本市	14.6	1,965
鹿児島市	14.4	1,919
福岡市	12.7	1,849
東京都	12.0	1,847

水道水温度

熊本市の水道水は全て地下水でまかなわれており、その水道水温は年間を通してほぼ一定(約 19)です。太陽熱温水器等を利用する際、冬の昇温に必要なエネルギーが少なくてすみます。この特性は、熊本市民の宝です。



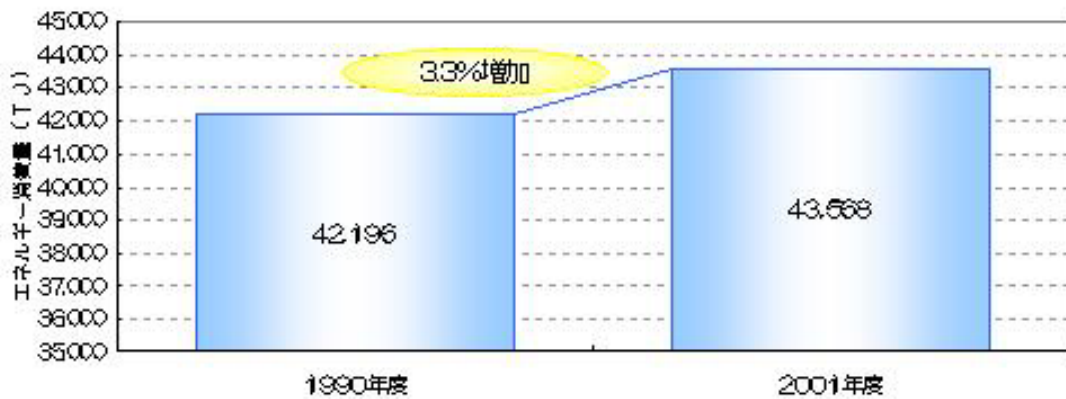
3 エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の状況

熊本市におけるエネルギーの消費量や二酸化炭素排出状況は、以下のようになっています。

エネルギー消費量の状況 暫定値

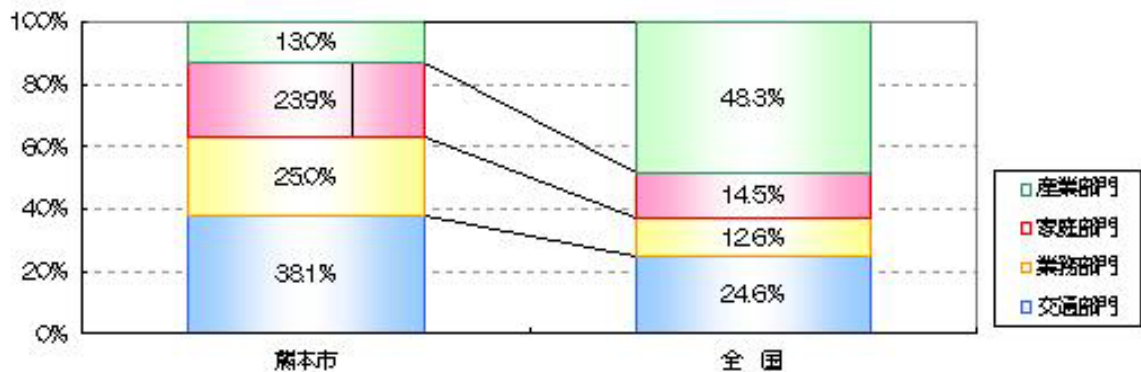
2001年度におけるエネルギー消費量は、1990年度比で3.3%増加しています。そのエネルギー消費量の内訳は交通部門が38.1%と高く、次いで業務部門25.0%、家庭部門23.9%、産業部門13.0%となっており、全国平均と比較すると、交通、業務、家庭部門の割合が高くなっています。

◆ エネルギー消費量の推移



1TJ(テラジュール) = 10^9 GJ(ギガジュール)
 = 10^6 MJ(メガジュール)
 = 10^9 kJ(キロジュール)
 (1kcal = 4.186kJ)

◆ 部門別エネルギー消費量割合(2001年度)

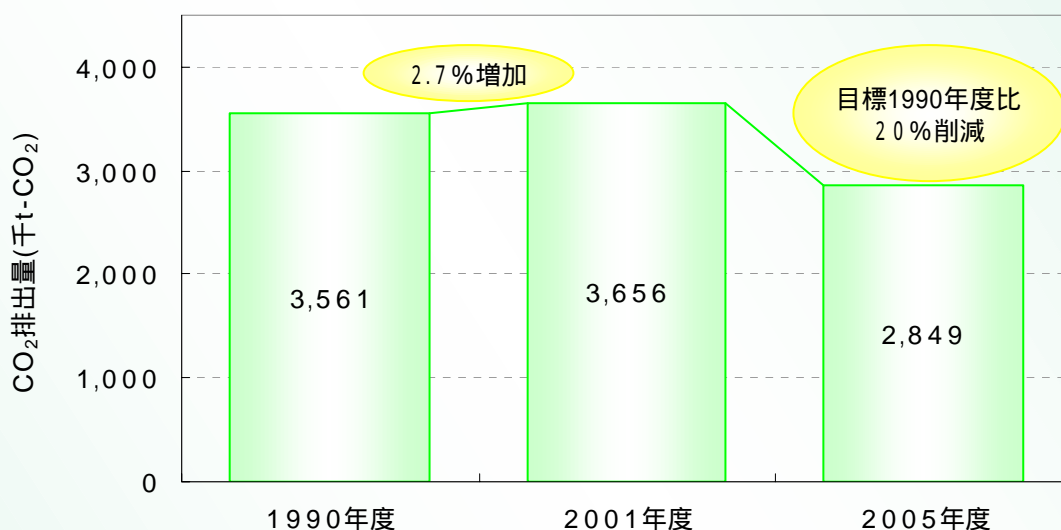


二酸化炭素排出量の状況 暫定値

2001年度における二酸化炭素の排出量は、1990年度比で2.7%増加しています。熊本市が掲げている「地球温暖化防止地域推進計画」では、2005年度で1990年度比20%削減を目標にしています。よって、二酸化炭素排出量の削減には、今後も更なる努力が必要です。

また、二酸化炭素排出量の内訳は、私たちの日常生活にかかわる交通部門（30%）、業務部門（26%）、家庭部門（24%）の割合が高くなっています。したがって、私たちの生活における二酸化炭素削減が重要な課題です。

二酸化炭素排出量の推移



部門別二酸化炭素排出量割合(2001年度)

